

「ピーターラビット展」 ビアトリクス・ポター生誕 150 周年

Bunkamura ザ・ミュージアム 2016. 08. 09～10. 11

福岡、仙台、大阪、広島、名古屋を巡回



「ビアトリクス・ポター」(1866～1943)は、少女時代に訪れた英国・湖水地方の美しさに魅了・感激したため、生涯を通じその景観を守るナショナル・トラストの活動を支援し、世界中の人々を今なお魅了し続けている作家である。

彼女の自然に対する情熱は、1902年に出版されて以来 30 以上の言語に翻訳され、ベビー服、人形、陶磁器から各種の日用品にまで登場して、世界中の子どもたちに最も親しまれているキャラクターの一つとなり「ピーターラビットの絵本」シリーズの創作に色濃く反映されている。

本展は、彼女の生誕 150 周年を記念して、これまで紹介されることのなかった「英国ナショナル・トラスト」所蔵の絵本原画「44 点」の他、スケッチ、思い出の品々などの収集品である作品・資料「200 件以上」が本邦で初公開される貴重な機会である。



[公式サイト]

<http://www.peterrabbit2016-17.com/>

今日の「ピーターラビット」の人気は、「ビアトリクス・ポター」の絵本作家としての長い経験が生み出したもので、特徴のある動物たちが登場する「23 冊の小さな絵本」をまとめた「ピーターラビット全お話集」が発行されている。